

○東筑紫短大 花崎正子
福岡女子大学 澄川精吾

目的 最近の毛皮・羽毛製品の普及や住生活様式の変容にともなう毛織カーペットなどの使用頻度の高まりは、衣料の防虫に新たな問題を投げかけているように思われる。そこで、我々は、衣料を食害する虫の中で、先ず、ヒメマルカツオブシムシをとりあげ、その生態の全容を把握するための一端として、ヒメマルカツオブシムシの屋内・外での行動を観察し、その生態の一部を明らかにすることができたので報告する。

方法

- 1) 屋外観察；花壇に植えられた花および自生の花を任意に選り、ヒメマルカツオブシムシの成虫の飛来数を観察調査した。
- 2) 屋内観察；シャーレの中で20～30個体のヒメマルカツオブシムシを集団で飼育し、産卵、孵化、寿命について観察した。
- 3) 観察時期；昭和58年～59年
- 4) 観察場所；北部九州

結果

- 1) 個体群産卵数；3～33個
- 2) 孵化日数；15～31日
- 3) 寿命；平均30日
- 4) 成虫活動時期；4月中旬～6月中旬
- 5) 成虫飛翔高度；ビル3階